

# ニュースクリップ & 映像教材

- 松下教育研究財団「第34回実践研究助成」募集開始
- 「映文連アワード2007表彰式」第10回「日本と世界の優秀企業映像を見る会」併催
- 第6回全国こども科学映像祭表彰式・講演会・上映会
- 第14回「マイタウンマップ・コンクール」作品募集

## AV情報

### ■松下教育研究財団「第34回実践研究助成」募集開始

(財)松下教育研究財団では、さまざまな視聴覚メディア・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究に対して、研究助成の募集を行う。今回から、一般と特別研究指定校と2つの制度で実施する。

〈内容〉

- 一般（1年間助成）
- 特別研究指定校（2年間継続研究）には、①確かな学力の育成に向けたICTの活用、②人間力の育成のためのカリキュラム開発の2つのテーマを設定し、テーマに則った下記のような実践（一般も同様）に助成を行う。例①学力向上に向けた取組み②総合と教科の連携による人間向上に向けた取組み③メディアリ

テラシー・情報リテラシー教育に関する取組み他

〈応募資格〉

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、教育研究グループ、教育センター、教育研究所。ただし、特別研究指定校は、小学校、中学校を対象とする。

〈助成金額・件数〉

- 一般 助成金50万円×70件
- 特別研究指定校 150万円×4件

〈研究成果〉

所定の成果報告書の提出と成果報告会での報告のほか、特別研究指定校は、所定ホームページによる情報発信、公開（学校・授業公開、公開研究等）と、年3回程度、財団が指名する審査委員による訪問アドバイスがある。

〈応募方法〉

所定の「申請書」に必要事項を記入し、公印を捺印の上、提出。  
〈応募締め切り・結果発表〉

平成20年1月31日（木）消印有効・3月10日（月）応募者全員に通知。

〈問い合わせ先〉

(財)松下教育研究財団

TEL 03-5521-6100

<http://www.mef.or.jp>

### ■「映文連アワード2007表彰式」第10回「日本と世界の優秀企業映像を見る会」併催

(社)映像文化製作者連盟では、標記表彰式と併せて、海外映像祭での入賞作品の上映会を開催する。

〈日時〉

平成19年12月12日（水）10:00～16:15（開場9:45）

〈会場〉

時事通信ホール（東京都中央区銀座5-15-8）

〈内容〉

映文連アワード2007最優秀作品賞（グランプリ）「やーさんひーさんしからーさん 集団疎開学童の

## ブックレビュー



### 「こどものためのワークショップ—その知財はだれのもの？」

ワークショップ知財研究会編著  
 アム・プロモーション  
 2007年4月刊 A5判 193頁  
 1,900円(税込)

著作権のことが学校教育で議論されるようになってきたこの時期に、社会教育活動などで日常的に取り入れる「ワークショップ」を知的財産権から考察したことの意義は大きく深い。

ワークショップは、主催者、参加者など関係した人々の知恵と創造力の塊である。本書でも指摘するように「知」と汗の結晶」である。そのようなワークショップを、単なるアイデアは著作物ではないというところから出発することが適切であるかどうかについては、関係者と一度議論してみたい。第9章で「知的創造サイクル」の記載があるが、この政府の認識する知的財産と「ワークショップ」のマッチングが良いのかについては検証する必要がある。簡単に政府の方針とワークショップ

を結びつける必要は無いかと思われるが、日常的に私たちが行っている教育活動を知的財産から考察する価値はある。しかし、「すべてのワークショップをお金には換えることはできない。逆にすべてのワークショップを好意でまとめることもできない」という疑問は読み終えた後に残る。

本書のような出版が重ねられることを強く望むが、そのときには、もう少し具体的な記載があると良いのではないか。子どもたちの作品を本に載せるときの著作権契約書。子どもの保護者との契約とその課題。さらには肖像権。市販の製品の写真を掲載するときの意匠権・商標権の処理など。今回はどのようにクリアしたのでしょうか？

(常磐大学 坂井知志)

証言」(41分・製作(株)シネマ沖縄)、優秀作品賞(準グランプリ5作品)の上映。また、海外の優れた企業映像を紹介。今回は、ドイツ・アメリカの映像祭グランプリノミネート作品を中心に8か国から10作品を選び上映予定。ほか、トークセッション、ピーター＝リム・デ・クローン特集など。詳細は、こちら<http://www.eibunren.or.jp/>

〈参加費〉

5,000円

〈問い合わせ先〉

(社)映像文化製作者連盟

TEL03-3279-0236

#### ■第6回全国子ども科学映像祭

##### 表彰式・講演会・上映会

子どもたちによる科学映像作品コンクールを主催する(独)科学技術振興機構、(財)日本科学映像協会他による標記映像祭の表彰式・上映会が下記のとおり行われる。

〈日時〉

平成20年1月13日(日) 10:00  
 開場、10:30～上映会、11:00  
 ～表彰式・講演会

〈会場〉

日本科学未来館(東京都江東区青海2-41)

〈内容〉

入賞作品上映、表彰式、講演会(SF漫画作家・松本零士氏)他。

〈問い合わせ先〉

(財)日本科学映像協会

TEL 03-3504-1625

## コンクール情報

### ■第14回「マイタウンマップ・コンクール」作品募集

マイタウンマップ・コンクール実行委員会ならびに(財)情報処理教育研修助成財団主催による標記コンクールの参加作品の募集が行われている。

〈募集作品内容〉

学校や家庭、職場で学んでいること、また、グループで共同研

究した成果など、自分たちが住んでいる街や村の暮らしぶり、地域の特性・特色や魅力といった身の回りのあらゆる生活情報を素材にして、絵・写真・文章・地図・音楽などで表現したものを募集する。

〈応募対象〉

年齢、性別、国籍は問わない。学校、教育施設、自治体、地域ボランティアなどグループでの参加のほか、個人でも応募可。

〈制作機種〉

制限はないが、機種依存しないものに限定する。

〈締め切り〉

平成19年12月31日(月)

〈受賞作品発表〉

平成20年2月中旬を予定。

〈問い合わせ先〉

ホームページより問い合わせのこと。マイタウンマップ・コンクール実行委員会<http://www.mytownmap.or.jp/index.htm>

## トピックス

文部科学省委託「先導的教育情報化推進プログラム」事業

各地でICT活用授業が始まる

本誌10月号によりお知らせした通り、(財)日本視聴覚教育協会が委託を受けて3か年計画で実施している「デジタル指導案を用いたICT機器の活用に関する調査研究」事業は、日本学校視聴覚教育連盟の協力により、同連盟傘下の全国10校に調査研究の協力校として参加いただいているが、各実施校に対して大型提示装置を含むICT機器等の貸し出しを完了し、このほど初年度の授業が各校により開始され、11月から12月にかけて調査研究委員の視察が行われている。

この調査研究は、普通教室等に置く大型提示装置を含むICT機器の構成に関して、モデル機器構成を設定・提示し、それらをワンタッチオペレーションで操作できるコントローラを準備し、調査研究協力校に配置することでICT機器活用を促進するモデル環境を構築する。さらに、この環境下での指導案を作成し、指導案に沿った実践授業を通じて、ICT機器活用促進についての評価検証を行う。具体的には調査研究協力校として「ICT機器を活用した授業の実践、指導案の作成、評価検証(アンケート・ヒアリング等)」を実施するもの。

〈調査研究協力10校〉

宮城県栗原市立大岡小学校、東京都足立区立花畑第一小学校、同港区立高輪台小学校、同大田区立大森第三中学校、川崎市立住吉小学校、横浜市立日限山小

学校、名古屋市立森孝東小学校、愛知県岡崎市立羽根小学校、同岡崎市立甲山中学校、大阪市立清水丘小学校

〈ICT機器の導入パターン〉

- ①地上デジタルプラズマテレビ、専用テレビ台、HDDVDレコーダー、教材提示装置
  - ②プロジェクションテレビ、専用テレビ台、HDDVDレコーダー、教材提示装置
  - ③液晶プロジェクター、スクリーン、HDDVDレコーダー、教材提示装置、AVテーブル
- 〈授業実践の促進と蓄積・普及〉

モデル環境導入校において実践を促進するとともに、活用授業の指導案と活用デジタル教材のデータベース化を進める。蓄積にあたっては、教科・領域・単元による検索可能な形で蓄積を行い、検索システムを構築し、本事業を通じてシステムの有効性を検証する。



11月15日実施・東京都足立区立花畑第一小学校・3年生社会科「さぐってみよう人々の仕事」

指導案登録・検索サイト(イメージ)



11月21日実施・大阪市立清水丘小学校・5年生社会科「わたしたちの暮らしをささえる情報」

